

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年 3月 9日

計画の名称	下水道施設の適確な維持管理・更新、老朽化対策等の推進（防災・安全）									
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	五領川公共下水道事務組合							
計画の目標	効率的な管理及び事業実施のための基本的な計画、耐震化計画を策定し、老朽化した施設を機能回復させ、きれいな水環境を整え、さらに快適で安心できるまちづくりを実現する。									
計画の成果目標（定量的指標）	①H23末までに長寿命化計画が必要な処理場施設の長寿命化計画策定率を100%にする。 ②H27末までに改築が必要となる処理場施設の改築率を100%にする。									
定量的指標の定義及び算定式	①H23末までに長寿命化計画が必要な処理場施設の長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み処理場施設数（箇所）／H23末までに長寿命化計画策定が必要な処理場施設数（50箇所） ②H27末までに改築が必要となる処理場施設の改築率 改築済み処理場施設数（箇所）／H27末までに改築が必要な処理場施設数（50箇所）									
		定量的指標の現況値及び目標値			備考					
		当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)						
①H23末までに長寿命化計画が必要な処理場施設の長寿命化計画策定率		0%	100%	100%						
②H27末までに改築が必要となる処理場施設の改築率		0%	30%	100%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	380百万円 351百万円	A	380百万円 351百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施時期
事後評価（中間評価）の実施体制	計画期間最終年度の平成27年度に実施
五領川公共下水道事務組合にて実施	公表の方法
	評価完了後、五領川公共下水道事務組合のホームページに記載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	下水道	一般	五領川	直接	-	処理場	改築	五領川浄化センター長寿命化計画策定	水処理設備・電気計装設備	五領川公共下水道事務組合						18	長寿命化
1-A1-2	下水道	一般	五領川	直接	-	処理場	改築	五領川浄化センター水処理設備・電気計装設備改築工事	水処理設備・電気計装設備	五領川公共下水道事務組合						362	長寿命化
											合計	380	351				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
												合計					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
												合計					
番号																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

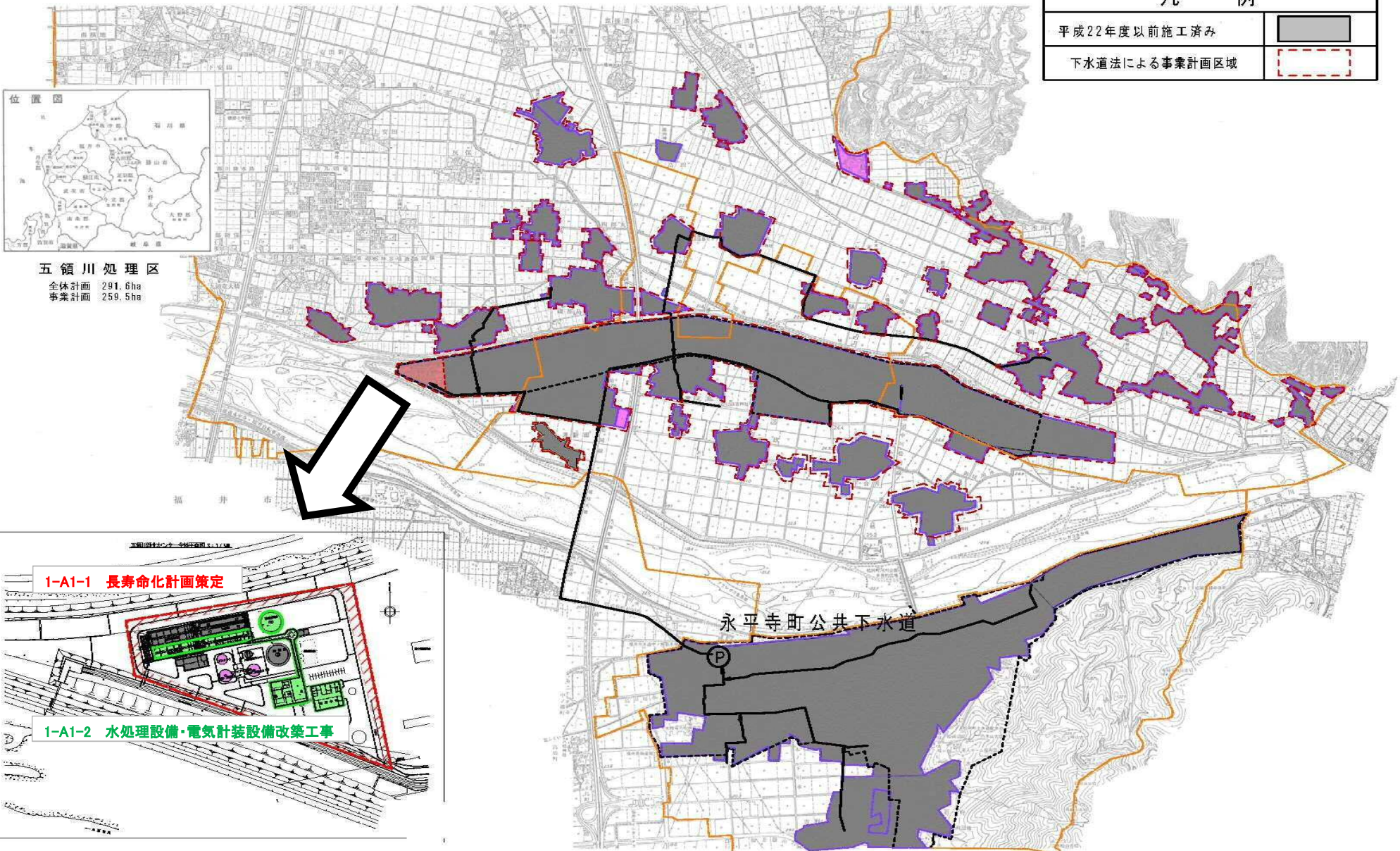
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道施設の機能確保と重大な事故発生や機能停止を未然に防止し、ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化の観点も踏まえた計画的な改築を効率よく行うことが可能となった。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（処理場の長寿命化計画策定率の割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画のとおり、処理場の機械・電気設備の長寿命化計画を策定(1-A1-1)し目標を達成した。 【目標値の算出】50施設・設備÷50施設・設備=100% 【実績値の算出】50施設・設備÷50施設・設備=100%
		最終実績値	100%		
	指標②（処理場施設の改築率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画のとおり、処理場の施設の改築(1-A1-2)を実施し、目標を達成した。 【目標値の算出】50施設・設備÷50施設・設備=100% 【実績値の算出】50施設・設備÷50施設・設備=100%
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、下水道施設の機能確保と重大な事故発生や機能停止を未然に防止し、ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化の観点も踏まえた計画的な改築を効率よく実施していく。

計画の名称	下水道施設の適確な維持管理・更新、老朽化対策等の推進 (防災・安全)		交付対象	五領川公共下水道事務組合
計画の期間	平成23年度～平成27年度 (5年間)			

凡 例	
平成22年度以前施工済み	
下水道法による事業計画区域	



五領川処理区
 全体計画 291.6ha
 事業計画 259.5ha

